

小規模特別養護老人ホーム 昂

令和 6 年度事業報告書

1. 職員の配置状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

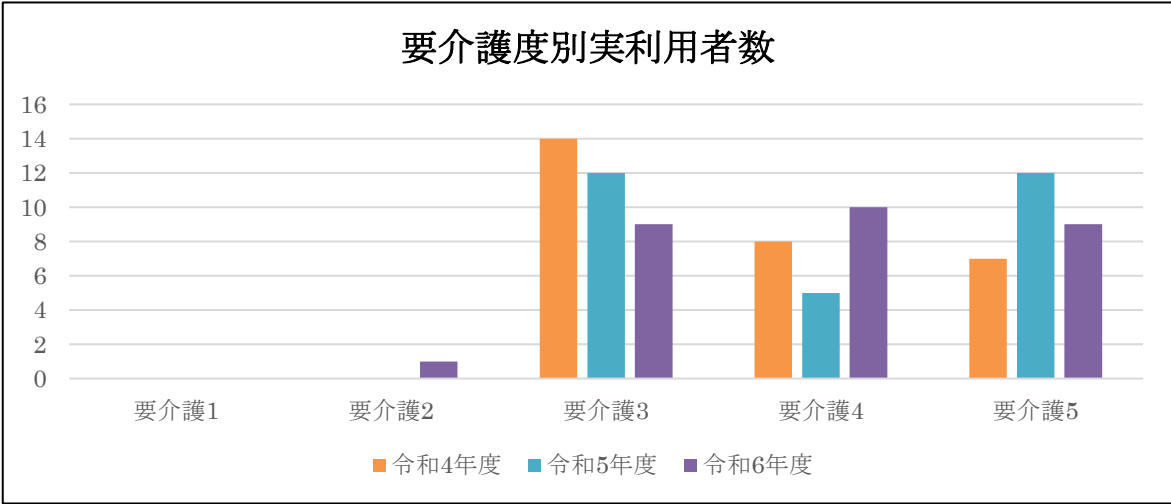
職 名 区 分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合 計
基準定数 ・・・①	1		1	1	(1)	1	1	10	1			16
正規職員の配置 ・・・②	1		1	1		1	1	15	1	1		22
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)		2	5			2	9
現 員 計 ②+③=④	1		1	1	(1)	1	3	20	1	1	2	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

2. 利用者の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)



* 平均介護度 (令和 4 年度 3.75、令和 5 年度 4.0、令和 6 年度 3.93)

(1-1) 入退居状況（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	1人	1人	0人	0人	2人	2人	2人 (1)	0人	1人	0人	1人	1人	11人 (1)
退居	1人	0人	0人	0人	3人	2人	1人 (1)	1人	0人	1人	0人	1人	10人 (1)

＊（ ）は、短期入所利用者数

(1-2) 入退居状況（性別）

	男	女	計
入居者数	2人	9人	11人
退去者数	4人	6人	10人
入居者在籍数	8人	21人	29人

(2) 月別申込み状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2人	2人	1人	1人	1人	0人	2人	5人	0人	1人	3人	1人	19人

(3) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ 人数	858人	893人	870人	899人	871人	839人	881人	857人	897人	882人	794人	874人	10,415人
稼働率	98.6%	99.3%	100%	100%	96.8%	96.4%	97.9%	98.5%	99.7%	98.1%	97.7%	97.2%	98.3%

＊月平均稼働率は98.3%と高水準を維持し、事業収入は前年比で約660万円の増収となった。一方で、下半期には入院が多く、そのまま退居となるケースもあり、稼働率に影響が見られた。また、ショートステイの利用希望期間と入院等による空床期間が合致しなかったことや、直近の待機者数が少なかったことにより、すぐに入居に結び付かず稼働率の低下となった。

(4) 逝去場所

昂	病院	ご自宅
10人	0人	0人

(5) 年齢層分布

年齢層	女性	男性	合計
63-74歳	0人	1人	1人
75-84歳	4人	0人	4人
85-94歳	9人	6人	15人
95-104歳	8人	1人	9人
計	21人	8人	29人

(6) 利用者負担軽減状況

負担段階	人数	割合
負担限度 1	0 人	0.00%
負担限度 2	1 人	3.45%
負担限度 3①	1 人	3.45%
負担限度 3②	8 人	27.58%
負担限度 4	19 人	65.52%

(7) 事故・ヒヤリハット報告

事故報告は転倒・転落事故関連が全体の約 7 割、ヒヤリハット報告では約 5 割を占めた。事故発生時の時間帯は日中の時間帯が多かった。

・事故報告 55 件

うち、2 件は右上腕骨折による重大事故あり新潟市へ報告。

・ヒヤリハット 140 件

3. 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
雪ユニット	12	0	不定期	㊟・無	機能訓練指導員、 看護師、ケアマネージャー、 管理栄養士、生活相談員、 居室担当または、 ユニットリーダー
月ユニット		0			
花ユニット		0			

(2) 機能訓練実施状況

①生活上機能訓練

【生活リハビリ】

一連の食事行為練習 : 毎日 17 名
 一連の整容行為練習 : 毎日 0 名
 一連の排泄行為練習 : 毎日 1 名
 姿勢変換保持練習 : 毎日 1 名
 言語機能訓練 : 毎日 1 名
 摂食嚥下機能訓練 : 毎日 5 名
 構音機能訓練 : 毎日 1 名
 起居・移乗動作練習 : 毎日 1 名
 歩行・移動練習 : 毎日 1 名

【作業リハビリ】

洗濯物たたみ : 毎日 1 名
 書字練習 : 毎日 1 名

②運動機能訓練

【運動器リハビリ】

関節可動域訓練 : 適宜 2 名
 歩行・移動練習 : 適宜 5 名
 起居・移乗動作練習 : 適宜 1 名
 筋力維持・増強訓練 : 適宜 12 名
 姿勢変換保持練習 : 適宜 6 名
 対人関係練習 : 適宜 1 名

③その他

歯磨き・更衣等における日常生活関連動作の促し : 毎日 19 名

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

①施設の体制について

- ・3ヵ月に一回全体会議にて、経過報告。
- ・虐待（の疑い）があった場合、口頭又は施設内に1か所の相談受付箱を設置。
- ・担当者の名前を重要事項説明書に明記。
- ・第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示。

②虐待防止に向けた施設での取り組みについて

- ・虐待の芽を早期発見に努める。
- ・虐待防止について勉強会開催。（年2回。職員入職時に随時）

③虐待の芽を早期に発見する為の具体的な取り組みについて

- ・自己点検シートの結果から課題を挙げ、課題解決に向けてスローガンを決めて職員に周知し、取り組んだ。定期的に取り組むについての振り返りを行い、全体会議で報告。自分自身、周囲の虐待について早期発見に繋げた。
- ・虐待に繋がりそうな相談を受けた際に他職員にも相談内容を共有し、アンケートを実施した。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所において嘱託医による往診を実施。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様及びご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、年1回の健康診断、ワクチン予防接種、看取りの方等の死亡確認及び死亡診断書の作成。
往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医に速やかに報告、指示のもと対応。

(5) 食事の状況

- ・食事時間
朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00
- ・食費
朝食、昼食、夕食 = 1,445 円（減額有） おやつ = 100 円

- ・食事形態 (在籍者数 29 人 当該年度 3 月 31 日現在)

常食	刻みトロミ	ムース食	ミキサー食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
9 人	9 人	0 人	9 人	0 人	2 人

- ・代替食
各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）

- ・栄養年報（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,505Kcal	59.0g	42.6g	629mg	6.7g
給与栄養量	1,509Kcal	50.9g	40.1g	610mg	7.2g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

入浴内容 区 分	一般浴	特別浴	リフト浴
延べ入浴者数	0 人	1,743 人	974 人
1 人当たり週回数	週 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）	実施日無し	月～土曜日	月～土曜日
入浴時間帯	時 分～ 時 分	9 時 00 分～16 時 00 分	9 時 00 分～16 時 00 分
介護員数	0 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理 由
無	無	無	特になし

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

月	活動内容
4 月	昂庭お花見、お花見ドライブ、お誕生日会
5 月	いなり寿司の提供、昂庭散歩、お誕生日会
6 月	カラオケ大会、梅ジュース作り、お誕生日会
7 月	納涼会、お誕生日会
8 月	すいか割大会、お誕生日会
9 月	敬老会、芋ほり、お誕生日会
10 月	お誕生日会
11 月	収穫祭、お誕生日会
12 月	クリスマスパーティ、お誕生日会
1 月	お誕生日会
2 月	バレンタインレク、お誕生日会
3 月	ひな祭り、お誕生日会

*その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。2 か月に 1 度リクエスト献立の実施。感染状況をみて対策を行いながら、施設全体の行事を実施。

(9) 防災訓練実施の状況

① 火元責任者自主検査チェック表

全職員に対し、担当区域ごとに「火元責任者」を割り当て、毎月自主検査を実施。

9 月および 3 月には、追加で「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを実施した。

また、令和 6 年度の新規入職職員および新たに担当となった職員を対象に、点検内容に関する説明会を実施した。

② 避難訓練

9 月 20 日および 3 月 21 日に避難訓練を実施。

9 月の訓練では、火災発生時の初動対応および避難誘導の手順について職員へ説明を行い、消火器の使用法、適切な距離、噴射位置などについて実技を交えながら確認した。

3 月の訓練では、全利用者を対象に火災発生を想定した一連の避難訓練を実施。特に階段に

よる避難については、ご利用者1名に対して職員3名程度が必要となることが想定されるため、迅速かつ安全に避難を行うための体制整備が今後の課題として挙げられた。

③ 水害図上訓練

3月21日には、洪水を想定した図上訓練を実施。

当施設は鉄筋コンクリート造2階建てであることから、状況に応じて2階への垂直避難も有効と判断。エレベーターが使用不可となる事態を想定し、1階の入居者が階段を使用して避難することを口頭で周知した。あわせて、各居室から階段までの動線および避難経路について図上で再確認を行った。

また、実際の避難所までの所要時間が不明であること、ならびに移動用車両が1台のみであることから、全員避難時の所要時間の把握が課題となった。今後、実地での所要時間の計測および日中・夜間それぞれに対応した避難体制の整備・共有を行っていく予定である

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員）、地域包括支援センター、
かめだ本町の里代表者、ご利用者様代表、ご家族様代表、当該事業知見者、
当該施設代表（施設長）、当該施設職員（生活相談員）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

（当該年度 年間実績）

利用者への 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	⑦ ・ 無	有 ・ ⑧	⑦ ・ 無	
受付けた苦情 内容及び解決 結果の 公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	⑦ ・ 無	⑦ ・ 無	重要事項及び契約書に記載・ 施設内掲示	

(2) 相談受付件数及び概要

① 要望件数 4件

【内容】「先生に相談したい事があると訴えたが、すぐに繋いでもらえなかった。」との苦情あり。

【対応】ご本人の訴えを傾聴したうえで、時間帯が夜間であったことから、看護師が内容を確認し、必要に応じて医師に報告・指示を受ける体制となっていることを説明した。今後も看護師と連携を図り、適切に対応していく旨を伝えた。

② 苦情件数 4件

【内容】「隣の居室の方の声がうるさくて眠れない。どうにかしてほしい。」と苦情があった。

【対応】ご本人の希望により夜間は居室の扉を閉めさせていただく事とした。また、隣室の入居者様に声出しがみられた際には、すみやかに訪室し対応する事とした。

5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

- ・短期入所生活介護の概要（空床型）
特別養護老人ホームの入居者が、長期入院や退所により長期間空床となった場合、短期入所生活介護として要支援1から要介護5の方を対象にご利用いただくことが可能である。
- ・年間実績
本年度は1名が緊急対応として4日間利用。その後、居室の入居者が退院された為、他のショートステイ（SS）施設へ移動された。
- ・問題点
入院により空床が発生した際、各施設へ情報発信を行い、数件の問い合わせがあったが、いずれも長期利用希望であったため、希望利用期間と空床期間が一致せず利用に至らないケースが多かった。
- ・対応策
病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と空床状況を共有し、情報提供の機会を増やしていく。また、担当区域である新潟市地域包括支援センター山潟とも連携を図る。

6. 待機者の状況

（当該年度 3月31日現在）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数（人）	1	2	5	3	0	11

＊ケアマネージャー、退所されたご家族からの紹介の他、SNSをご覧になった個人からのお問い合わせや見学の申し込みもみられた。次年度はSNSの活用を強化し、広報活動に積極的に取り組んでいく。

7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

（当該年度 年間実績）

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一木曜	有・無	施設長、副所長、看護師、 ケアマネージャー、生活相談員、 管理栄養士、各ユニットリーダー
ユニットリーダー会議		0	第二木曜		副所長、各ユニットリーダー
事故防止委員会		1			
全体会議		0	第三木曜		施設長、副所長、看護師、 ケアマネージャー、 生活相談員、管理栄養士、 各ユニットリーダー、介護職員
入所判定会議		0			
感染症対策委員会		0			
身体拘束廃止委員会		0			
虐待防止委員会		0			

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

令和6年度 研修実績					
	主催	研修名	実施日	参加者	備考
内部研修	研修・災害対策委員会	感染症・食中毒の予防及び、蔓延防止に関する研修	5月	全職員	ジョブメドレーアカデミー
		・非常災害時の対応に関する研修	6月		
		・医療に関する教育、研修			
		プライバシー保護の取り組みに関する研修	7月		
		倫理及び法令順守に関する研修	8月		
		身体拘束の排除の為の取り組み・高齢者虐待防止に関する研修	9月		
		認知症及び、認知症ケアに関する研修	10月		
		事故発生又は、再発防止に関する研修	11月		
		ターミナルケアに関する研修	12月		
		緊急時の対応に関する研修	1月		
		精神的ケアに関する研修	2月		
	施設内勉強会	第一回 BCP 感染症の予防及びまん延防止の研修・訓練	4月		感染対策委員会
		第二回 BCP 感染症の予防及びまん延防止の研修・訓練	11月		
		第一回 口腔研修	5月		歯科医
		第二回 口腔研修	11月		
		虐待防止について勉強会	4月		虐待防止委員会
		バイタルサイン、熱中症予防について勉強会	7月		看護
		第一回 BCP 災害対策研修・訓練	9月		庁舎委員会
		第二回 BCP 災害対策研修・訓練	3月		
		身体拘束について勉強会	11月		身体拘束廃止委員会
		事故発生防止研修：窒息時の対応について	1月		NST 委員会
外部研修	研修センター	口腔ケア研修	7月	齋藤 瑞稀	社会福祉協議会
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理者コース）	8月	小熊 佳奈	
		気づく力研修	9月	玉木 聡之	
		伝える力研修	10月	阿部 一恵	
		人材定着支援研修	11月	小熊 佳奈	
		看取りケア研修	12月	大坂 綾子	
	その他	在宅褥瘡セミナー	6月	白井 恭子	日本褥瘡学会
		ユニットリーダー研修実地研修	6月	熊倉 千陽	日本ユニットケア
		高齢者の尊厳を支える看取り	6月	白井 恭子	新潟市看護協会
		苦情解決責任者等研修	7月	平 恵理子	新潟市介護保険課
		新潟市介護支援専門員調査員研修	7月	川島 恵	新潟市介護保険課
		摂食嚥下障害がある患者の看護	10月	高橋 智美	新潟県看護協会

	令和 6 年度結核研修会	11 月	小熊 佳奈 島津佳代子	新潟市保健所
	中堅職員向け次世代リーダー養成研修	11 月	熊倉 千陽	新潟県福祉保健部
	食に関わる職員の為のユニットケア研修	11 月	木村佑美子	日本ユニットケア
	令和 6 年度認定調査従事者現任研修	12 月	川島 恵	新潟市福祉部

＊社会福祉協議会主催の研修に併せて、ウェビナーやジョブメドレーアカデミーから提供されるオンライン研修を実施した。

8. 建物・設備等の保守点検の状況

(当該年度 年間実績)

危険箇所・損傷箇所	具体的な状況	対応
6 月：1 階パブリック カーテン	レースシェードの破れ	レースシェードの張替え
7 月：食器	主菜皿の汚れ、小皿・スプーン等の不足	主菜皿の入れ替え、小皿・スプーン等の購入
9 月：職員トイレ 換気扇	異音	換気扇の取り換え
10 月：花ユニット IH クッキングヒーター	トッププレートに亀裂	卓上 I H クッキングヒーター購入
1 月：2 階洗濯機パン 排水トラップ	排水トラップの詰まり	プラスチック製の部品に交換
1 月：PHS	動作不能	修理
2 月：厨房業務用 ミキサー	水漏れ	部品交換
2 月：月ユニット (居室 7・8) エアコン	ファンモーターの故障による異音	修理不可能、新品購入
3 月：花ユニット 流し台	水漏れ	全ユニット水栓取替工事

9. その他の報告事項

- ・令和 6 年 12 月より、インフルエンザ、コロナ感染症、ノロウイルスの流行期の為冬季期間中に面会の制限を行った。
- ・スタンダードプリコーションを職員一同で常に実施したため今年度のコロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルス罹患者は 0 人、クラスターの発生はなし。